

黒埼町のお母さんのお母さん

阿部マスさんはお母さんのお母さんといえる。昭和四十一年から二十二年間、町の母子衛生事業に携わってきた。戦時中から四十年以上も助産婦として「一千人以上」の赤ちゃんをとり上げてきた。

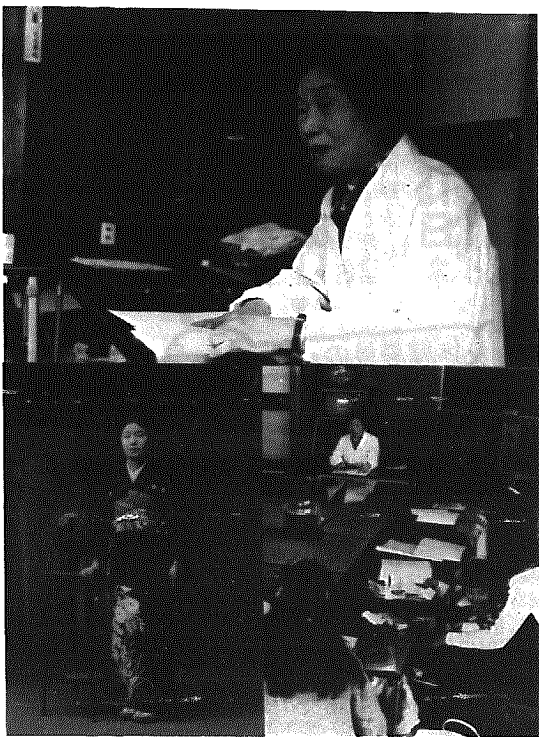
阿部さん(旧姓山田)は正四年白根市鷺の木に生まれ、鷺巻小高専科を卒業後鷺巻役場に勤務された。結婚のため退職。ところが結婚式まであと一か月するとき「相手のかたが亡くなってしまいました。文通で交際していた、郵便屋さんが楽しみに毎日だったのですが……」

そのとき二十二歳。「これからは女も手に職を持つ」と新潟市の女産婦看護婦学校へ一年間通った。もともと勉強は好きだった。女産婦、看護婦、保健婦の資格を取り、新潟市本町の上野病院に勤務。「結婚はもうしない」と思っていたところ、恩師から見合いの話が。相手は満州で警察官をしている阿部孫四郎さん。「一か月で結婚、一週間で満州に旅立ちました」昭和十七年十月七日である。戦時中の生めよ増やせよの時代である。「毎日毎日看護婦をしたり助産婦をしたり、日本人、朝鮮

阿部マスさん

人、中国人みんな看ました」そして、昭和二十年八月、敗戦。「天地がひっくり返った」。連軍が進攻し、二十一年五月、夫の孫四郎さんは「警察官だったからでしょう」連行された。以来、生死不明である。

その年の冬、阿部さんは二人の子と最後の引き揚げ船に乗った。「最後まで待ちました。でも……」。船の中で不幸が起きた。生後六か月の赤ん坊が肺炎で亡くなった。



母親学級で講義する阿部さん
19歳の阿部さん | 若いお母さんがたが相手だ

「死体は海に葬りました」。

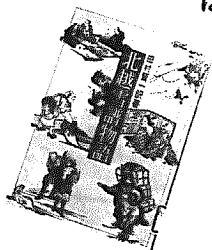
昭和二十一年十二月十四日、日本に着いた。母一人子一人だった。孫四郎さんの実家、立仏の阿部清一郎さん宅にしばらく落ち着き、「やはり助産婦として生きよう」と白根の実家で開業した。昭和四十二年、立仏に居を据えた。その後

付近はどんなに住宅が建ち、若い夫婦が住んだ。自然と阿部さんが頼られるようになった。町の母親学級、各種の検診でも活躍の場は広がっていった。

「戦後は自宅分娩は徐々になくなりまして、母子保健の指導が仕事でした。それでも急産はあります。去年の四月に一人とり上げました」。阿部さんは結婚や遺産の相談を受ける。どうしても阿部さんに……と頼まれることもある。まだまだ現役だ。そんな阿部さんの唯一の願いは、転勤で東京にいる息子夫婦に赤ちゃんが授かってほしい「それだけである」。

ほんの一冊

北越雪譜
物語
(新潟日報事業社)
田村賢一



北越雪譜——名前は聞いたことが

あるでしょう。今から140年ほど前、江戸時代の終わりごろを、塩沢の鈴木牧之という人が雪国の生活を著した本です。雪国の農民のひたすらな生きざまを描いたものです。赤ん坊を背負って吹雪に倒れた夫婦の話や、雪崩の下敷になってしまう話、大きなつらが朝日に映えて輝く話。そんな話が120ほど収録されています。この北越雪譜物語は原典を中学生にもわかるように著者が書き直したものです。原典の挿し絵もたくさん入っています。最近改めて北越雪譜が高く評価されていますが、雪国の自然や生活や人情が現代にも脈々と続いているからだと思えます。

(レポーター:大谷幸二・山田)

＜人の動き＞

12月末日現在(前月比)	前年比	前年比
人 □ 22,174(+15)	[+ 372]	[+ 138]
男女	[+ 8]	[+ 234]
世帯	[+ 7]	[+ 65]
12月1日～末日	転入	転出
出生	127	62
婚姻	13	66
死亡	10	



新年(編集)第一号をお届けします。今年もよろしくお願ひします。

二、三ページの座談会はテレビでご覧になられたかたも多いと思います。テレビでは一部しか放送できなかったため、広報紙で再録しました。「見る・聞く」と「読む・書く」の違いを改めて痛感しました。その場に読者がいるように書けたら本望なのですが……。今年目標です。

【先号の表紙】

あるアマチュア無線家のかたから、交換カードに蒲原平野の雪景色を使いたいので借してもらえないか、と連絡を受けました。そんないい写真でもないのですが、お役に立てれば幸いです。

【今号の表紙】

年齢が数え年だった時代、人はだれも新年になれば一つ輪をとった。あなたもわたしも○×歳、さあ一緒にスタートだと新年が自分の○×歳の始まりだった。今はことさら新年になったからといって何をしたいという気もそう起きない。日常の延長である。人生の一日である。今年には……意気込む人は受験生ぐらいのものである。だから何を言いたいのかという、インタビュに苦勞したということなのである。

【来号の表紙】

来月号では「町民世論調査」の結果を発表したいと思います。こんな町になってほしい、ここが黒埼町のよいところ、悪いところ、なおしてほしいところなどを「わたしが望む黒埼町」がテーマです。言いたいことお聞かせください。